



御田小 研究だより

平成30年1月31日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第6回研究授業報告

1月12日(金) 2年2組

授業者 岩崎 薫

1月17日(水) 2年1組

授業者 伊藤 翔太

授業者 六本木 友樹

<算数> 単元名「はこを 作ろう」

<単元でねらっていること>

○箱の形をしたものを観察したり作ったりする活動を通して、図形を構成する要素を理解するとともに、立体図形の基礎的な概念を理解する。

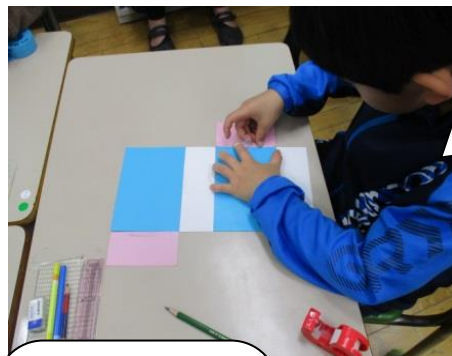
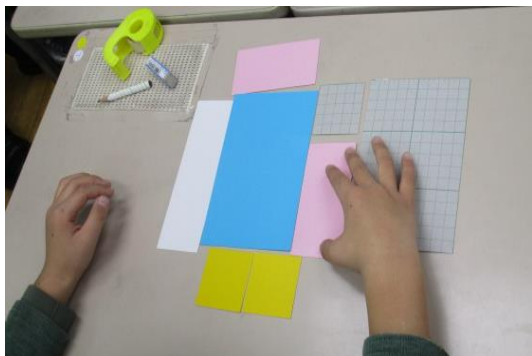
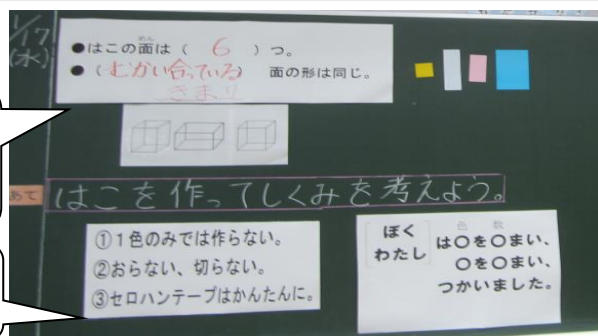
<本時のねらい>

○面の形や数に着目し、箱の組み立て方を考えることができる。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】

前時に作成した立方体の箱を提示して、立体作成のイメージをもちました。立方体・直方体の構成要素を黒板に掲示して、箱作りの活動に入りました。(共有化)

話型を示し、小グループで活動したことで、話し合いを深めることができました。(焦点化)



色付きの工作用紙を使ったことで、面と面の繋ぎ合わせを視覚的にとらえることができ、箱作りへの見通しをもつことができました。(視覚化)



箱を作るためには、面が6つあること、向かい合う面の形が同じであることを全体で共有し、確認しました。(焦点化・共有化)



2~3人のグループで自分の考えを発表し合いました。話型を使いながら、どんな箱を作ったのか、気付いたことを友達の考えと比べながら話し合いました。(焦点化・共有化)

<授業を終えて>

箱を作る活動を通して、立方体・直方体の面の形や数、向かい合う面が同じであることをとらえる学習をしました。また、自分が作った箱と友達が作った箱を比べ、話型を使って作り方を発表し合いました。2~3人の小グループで、お互いの考えを共有できる活動が学習内容を深め、一人一人の気づきにつながっていたので今後の学習にも取り入れていきます。